

多文化共生社会づくりを推進するための取組について

～みやざき外国人サポートセンターによる支援等について～

令和7年12月12日（金）

宮崎県国際・経済交流課
国際企画・旅券担当

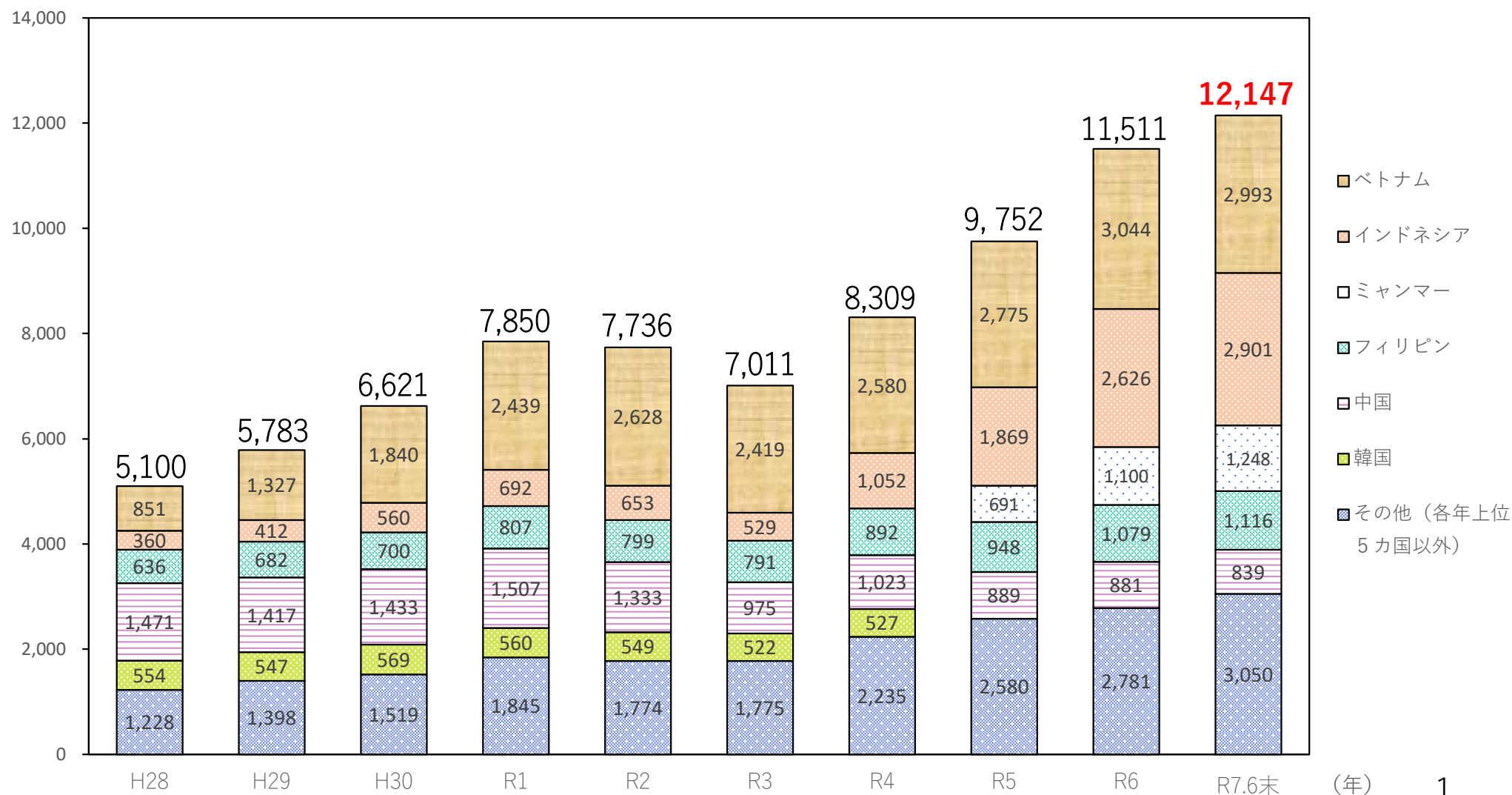
○ 多文化共生社会づくりを推進するための取組について

1 本県における在留外国人数の状況

宮崎県国際・経済交流課

(1) 国籍別外国人数の過去10年間の推移（各年上位5カ国とその他）

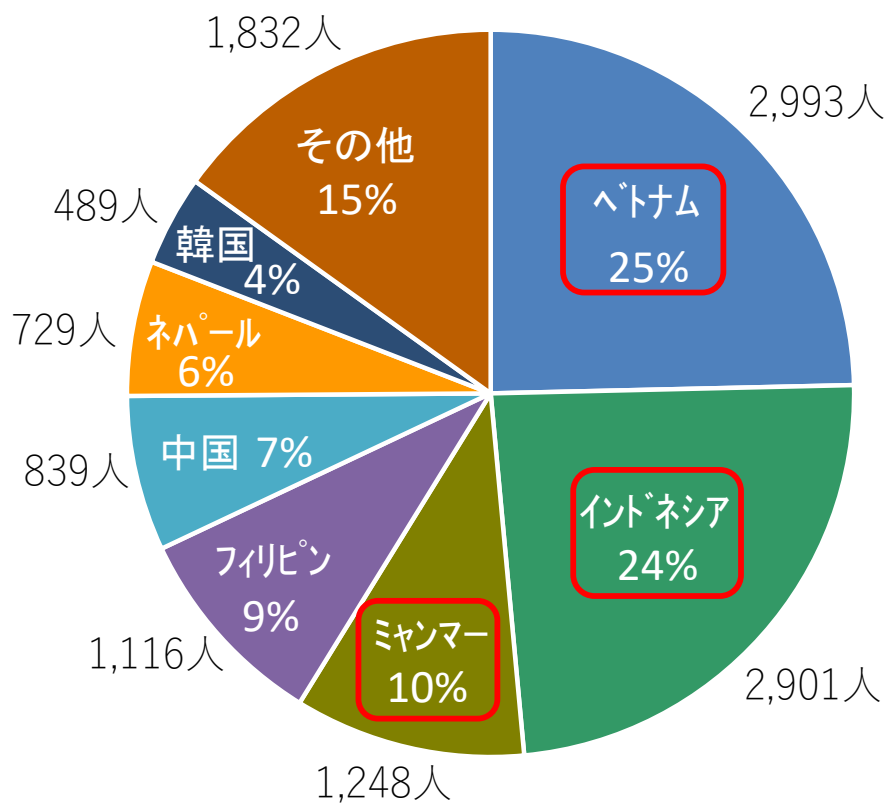
(人) 出典:法務省「在留外国人統計」※R6までは各年12月末時点



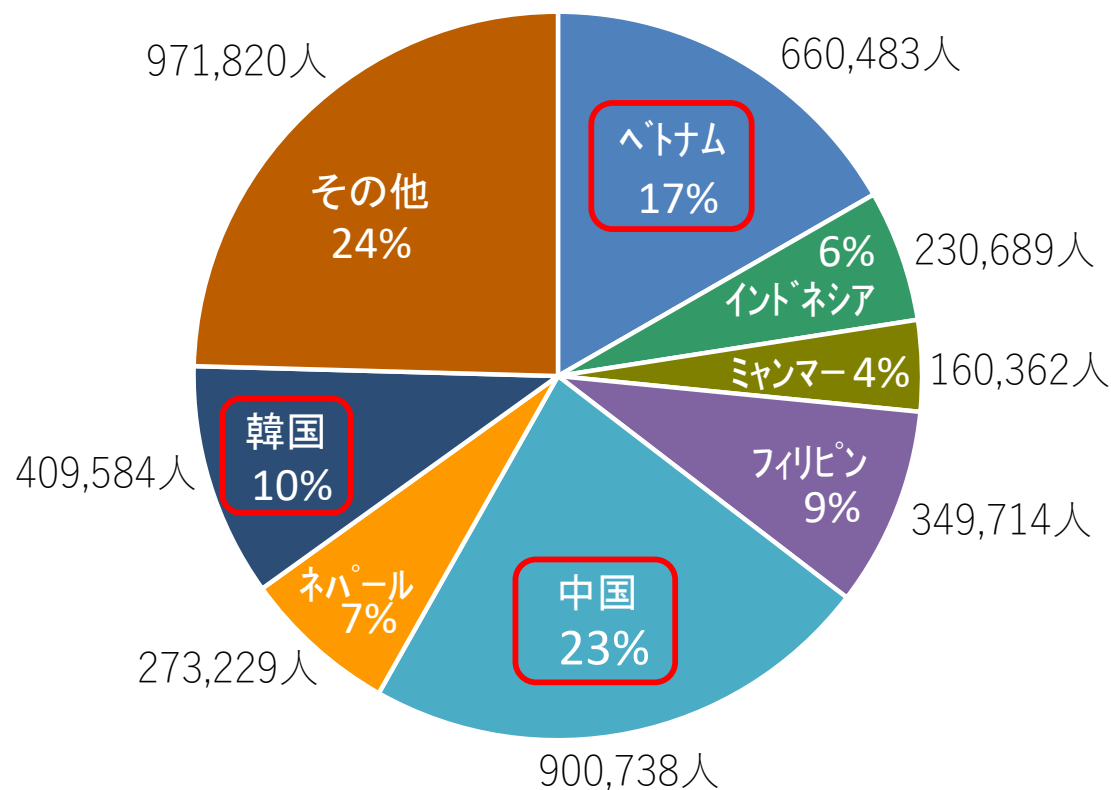
1 本県における在留外国人数の状況

(2) 国籍・地域別在留外国人数(令和7年6月末現在)

(宮崎県)



(全国)

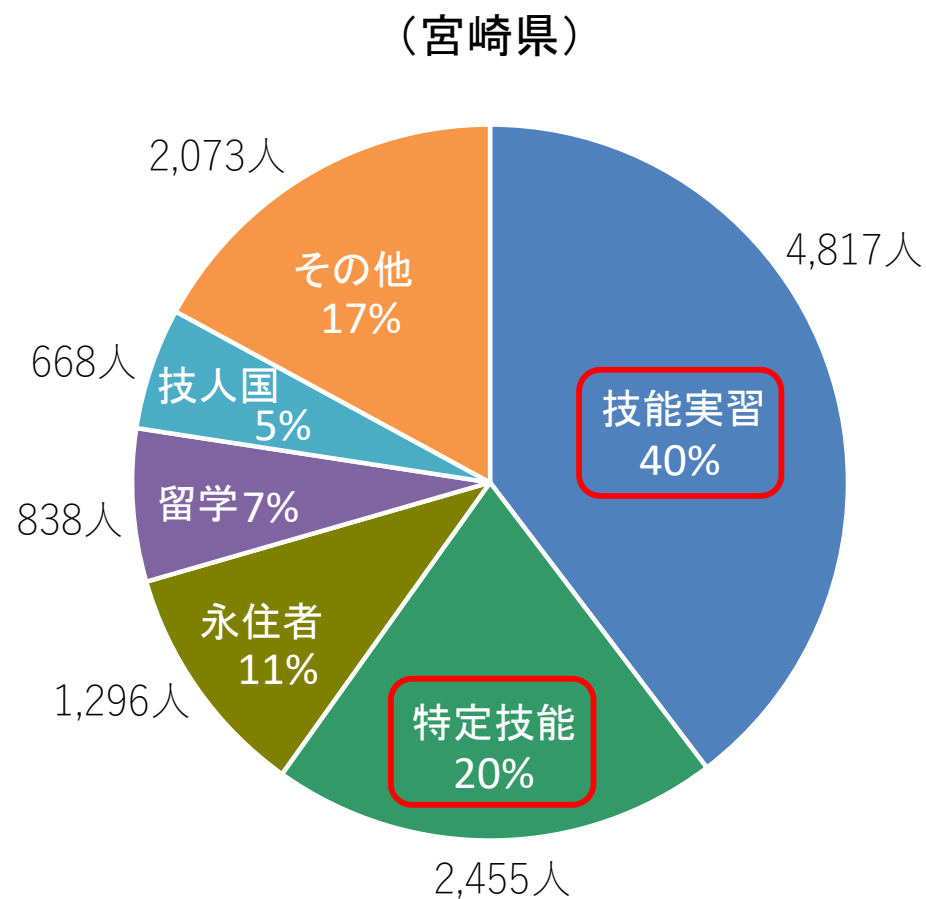


出典：法務省「在留外国人統計」

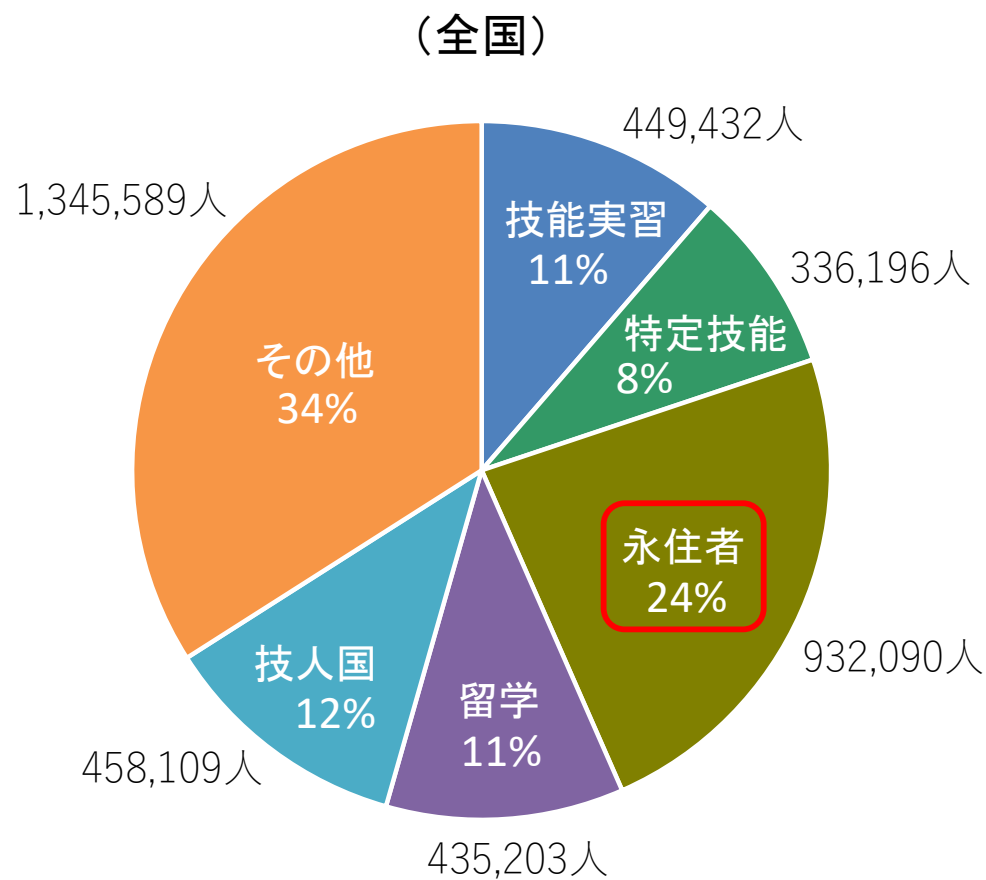
○ 多文化共生社会づくりを推進するための取組について

1 本県における在留外国人数の状況

(3) 在留資格別在留外国人数(令和7年6月末現在)



※技人国：技術・人文知識・国際業務



出典：法務省「在留外国人統計」

2 みやざき外国人サポートセンターの運営

外国人が安心して暮らせる環境を整備するため、行政・生活全般の情報提供や相談対応を多言語で一元的に行う相談窓口を設置し、外国人住民が抱える様々な疑問や悩みに対して、国や市町村、関係機関等と連携しながら相談対応等を行う。

- ・場 所：カリーノ宮崎地下1階
- ・営業日：火曜日から土曜日 10:00～19:00
※祝日・年末年始除く
- ・機 能：外国人住民等からの相談に対して、対面・電話
メール・オンライン等により対応
HPやSNSを活用した情報発信
- ・体 制：所長、相談員2名（日本人）
多言語コールセンターにより日本語のほか22言語に対応
母国語を話す生活相談員が対応する生活相談会の開催（7言語）
- ・利用料：無料



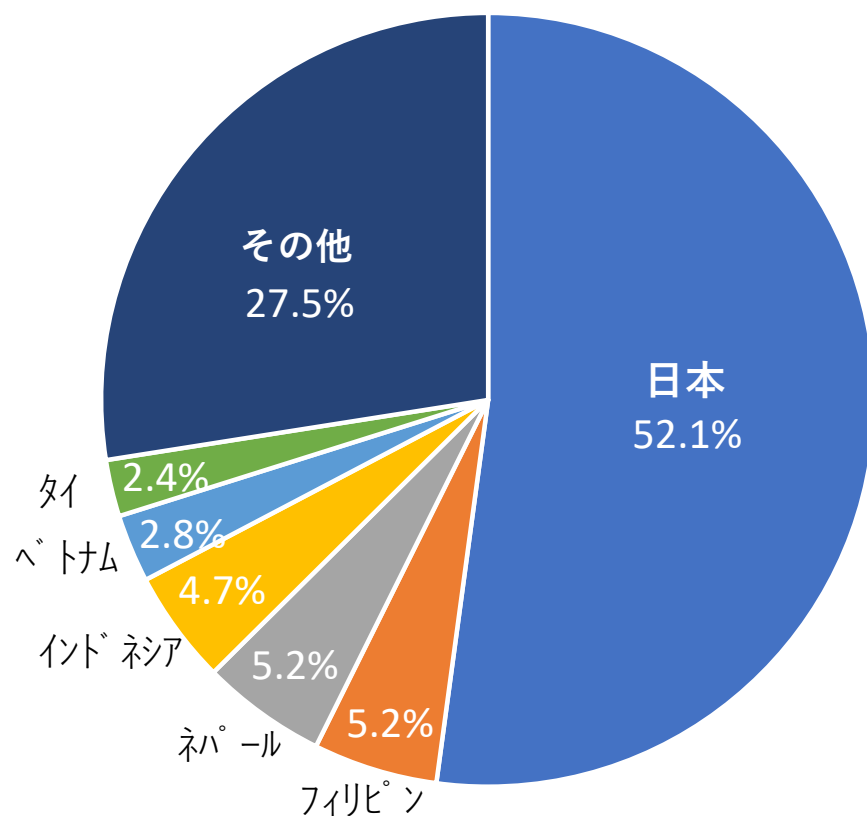
2 みやざき外国人サポートセンターの運営

【令和6年度の実績】

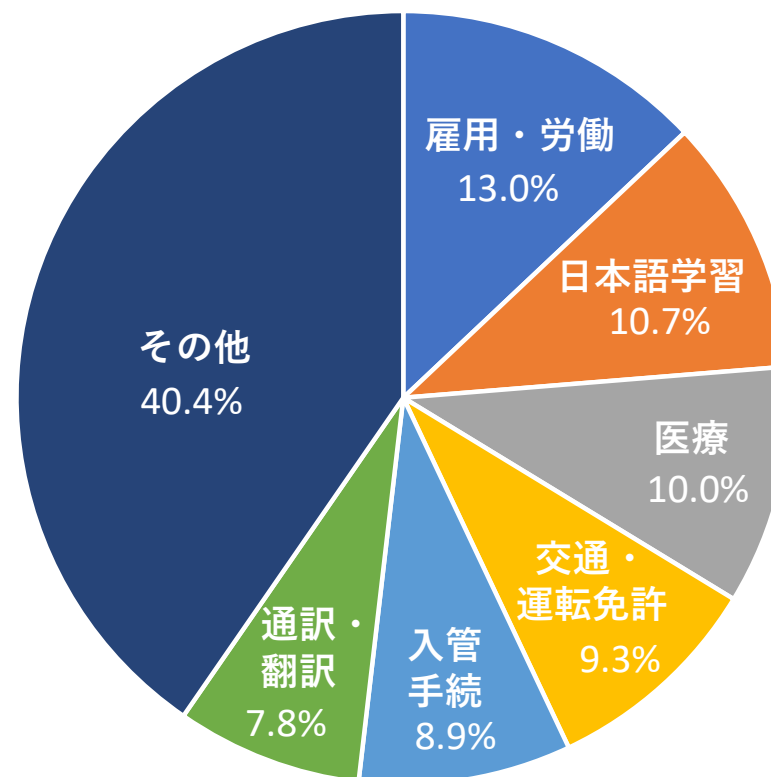
相談人数 211人（外国人88人、日本人110人、不明13人）

相談件数 270件（主な相談内容：雇用・労働(35件)、日本語学習(29件)、医療(27件) 等）

（国籍等別）



（相談内容別）



○ 多文化共生社会づくりを推進するための取組について

3 宮崎での生活に必要な情報の提供

外国人のための生活情報パンフレット（みやざき外国人サポートセンター作成）

①概要

- ・ 緊急時の対応を含む宮崎県での生活に便利な情報を5言語（日本語・英語・中国語・韓国語・ベトナム語）で提供
- ・ パンフレットの市町村や関係機関への配布に加え、同内容をみやざき外国人サポートセンターのHPや県国際交流協会のSNSに掲載

②主な情報

- ・ 病気や怪我、病院、保険などの医療に関する情報
- ・ 引越しや住宅、雇用、労働、ビザなどの日本滞在に関する情報
- ・ 離婚や親権、裁判、子どもの学校教育などの家庭の悩みに関する情報
- ・ 交通事故や地震、火事、犯罪など緊急の問題に関する情報



みやざき外国人サポートセンターHP
パンフレットデータ掲載



○ 多文化共生社会づくりを推進するための取組について

4 外国人住民向け日本語教育の取組

(1) 日本語講座

①概要

- ・テキストを使用し、学校形式で生活に必要な日本語を学ぶ教室
- ・受講者のレベルに応じ、入門、初級1、初級2等のコースを設定

②令和6年度の実績

- ・対面3コース（受講者数：延べ374名）
- ・オンライン6コース（受講者数：延べ751名）



オンラインでの日本語講座

※令和6年度に県産業政策課が実施した外国人材定着動向調査の結果で、外国人住民が日本語を学びたい時間帯として「夜間（18時～22時）」という回答が多く得られたため、就労している外国人も生活に必要な日本語能力を身につけられるよう、令和7年度から日本語講座の夜間コースを新設。

(2) 地域日本語教室

①概要

- ・外国人住民が日本人住民との交流を交えながら、生活に必要な日本語や生活知識を実践的に学ぶ教室を市町村との連携により開催

②令和6年度の実績（新富町で2回実施）

- ・自転車の交通ルール（参加者数：外国人25名、日本人10名）
- ・防災（参加者数：外国人9名、日本人4名）



交通ルールに関する地域日本語教室

※令和7年度は、市町村の地域日本語教室開催を支援するコーディネーターを1名から2名に増員し、市町村と連携して開催する地域日本語教室を宮崎市・西都市・国富町・新富町の4市町で計7回開催見込み。